

## 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	県内外に向けた高原鉄道小海線の魅力発信事業
事業主体 (連絡先)	小海線沿線地域活性化協議会 (南牧村 産業建設課建設係 菊池 申也 TEL:0267-96-2211)
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり (1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	3,414,569円 (うち支援金:2,511,000円)

### 事業内容

- 1.観光誘客パンフレットによる広報  
「小海線の旅 夏号」
  - ・実施日時:平成27年9月～平成27年11月
  - ・実施場所:首都圏JR駅(一部県内主要駅)
  - ・パンフレット設置部数 年間100,000部
- 2.メディアを活用した情報発信
  - ・実施日時:平成27年7月9.15.21.22日(テレビ)  
7月31日(地域紙)  
8月4日(テレビ)
  - ・実施場所:信越放送、テレビ信州、テレビ金沢、  
北日本放送、福井放送(放送局)  
東信地区(信毎折込)
- 3.首都圏等における観光PR
  - ・実施日時:平成27年6月27日～6月28日
  - ・実施場所:石川県産業展示館1号館(石川県金沢市)



【1. 観光誘客による広報】



【2. 首都圏等における観光PR】

## 事業効果

・JR東日本との共同で実施した小海線沿線地域の観光情報を掲載したパンフレットを首都圏のJR駅に無料で一定期間配置できたことにより、JRや沿線市町村に対する小海線に関する問い合わせが増え、記念事業にも興味をもっていただけた。また、テレビや地域紙等で小海線の歴史や魅力を情報発信することで、地元地域の方に小海線の魅力を再認識してもらえた。

・今年度小海線は全線開通して80周年・小海線の前身である佐久鉄道が開業して100周年を迎え、様々なイベントが盛大に行われております。この大きな節目を多くの方が注目する中で、県内外へ幅広く小海線の魅力をPRできた。そして、大きな節目を終えた来年以降の小海線が踏み出すこれからの展開を大勢の方に期待を持たせられた。

### 【目標・ねらい】

- ① 県内外への小海線 80 周年記念事業の情報発信
- ② 小海線沿線地域の魅力発信
- ③ 小海線の認知度向上

### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

小海線 80 周年記念の年という注目の中で、地元地域をはじめ多くの県内外の方々に幅広く小海線の魅力を発信できたため。

## 今後の取り組み

今年北陸新幹線（長野経由）開業し多くの方が注目・利用する中で、小海線や佐久地域の情報を、北陸圏に向けた観光PRがこれからの鍵となる。そのため首都圏だけでなく北陸圏に向けた小海線・佐久地域の情報を強くPRする。また、今年に「星空」とタイアップした事業を来年以降の足掛かりとして予定しております。そのため、「星空」と絡めた企画を今後も継続して行い、小海線の魅力を情報発信し続ける。